

仮設建物の設計詳細

I. 建築工事

1 仮設

1-1 外部足場

$H = 3.0\text{m}$ 若しくは 6.0m
丸太抱き足場 + シート
ガードフェンス

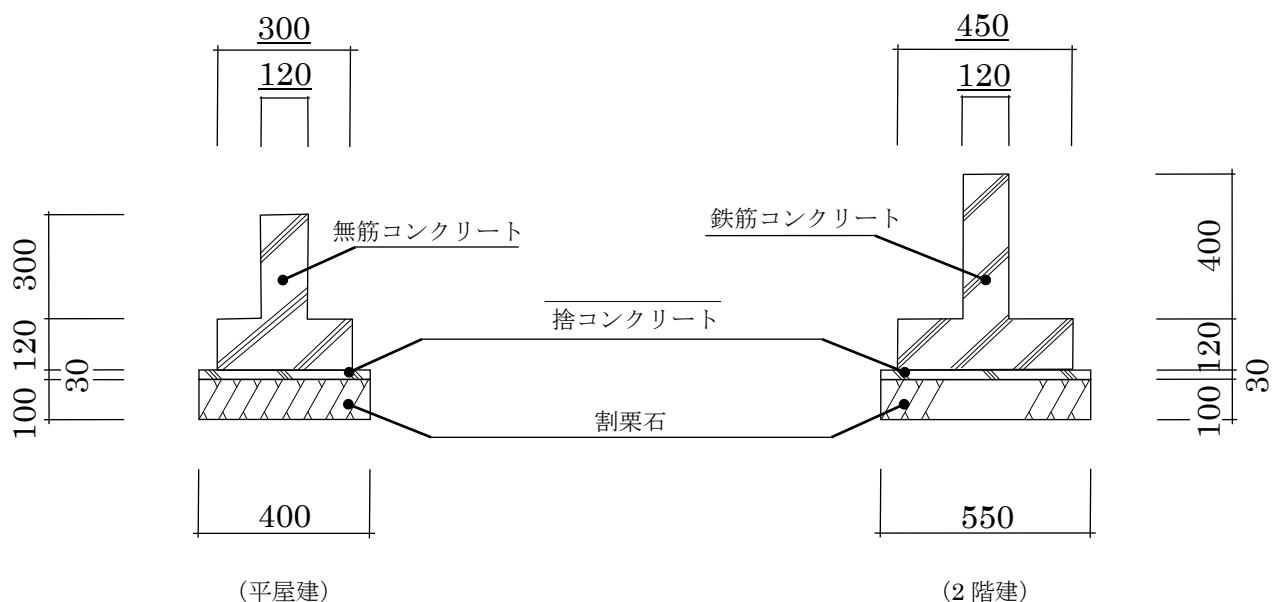
1-2 工事用看板

工事名称・工期・請負業者・連絡先等を明示する。

2. 基礎及びコンクリート

2-1 仕様・形状

平屋建：無筋コンクリート布基礎（フーチング付き）
2階建：鉄筋コンクリート布基礎（フーチング付き）



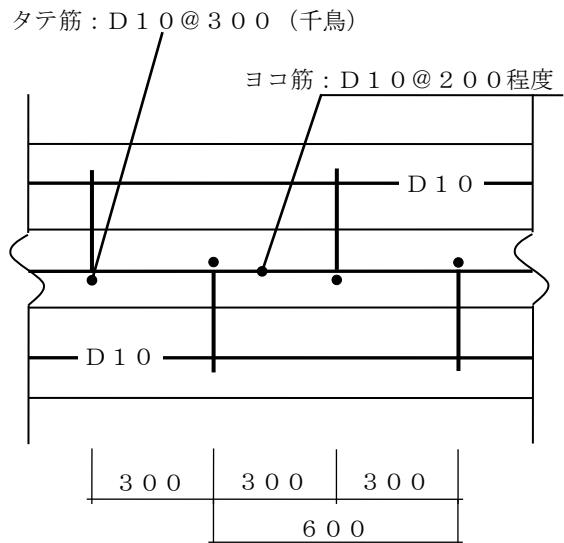
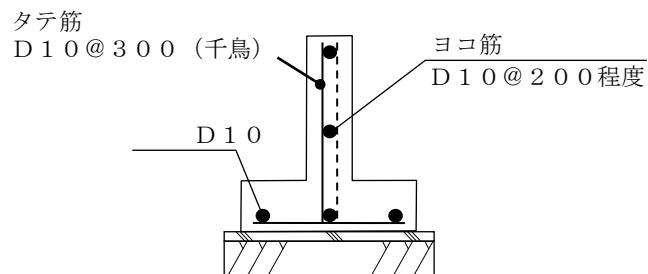
基礎コンクリート : F c 1 8 0, S 1 5 • S 1 8
上記以外（捨て、土間等） : F c 1 5 0, S 1 8

2-3 配筋

鉄筋 SD 295

タテ筋 D 10 @ 300 (千鳥)

ヨコ筋 D 10 @ 200 程度



2-4 その他

① C B 基礎を併用する場合

C種 ア 100

② アンカーボルト

$\phi 13$ L = 450 @ 1, 800 以下

③ 床下換気口

樹脂製 150 × 300 @ 5, 000 程度

2-5 その他コンクリート等工事

① 土間コンクリート (倉庫等荷重が考えられる場合)

コンクリート ア 100 + 碎石 ア 50

ワイヤーメッシュ $\phi 5 - 100 \times 100$

② 床下防湿コンクリート

コンクリート ア 50 + 碎石 ア 50

③ 犬走りモルタル

モルタル塗 ア 30 + 碎石 ア 50

3. 木工事

3-1 構造材

土 台	防腐土台一等	1 0 5 × 1 0 5
火打土台	米梅一等	9 0 × 9 0
柱	〃	1 0 5 × 1 0 5
間柱 (大壁)	〃	1 0 5 × 1 0 5 / 3 @ 4 5 0
間柱 (真壁)	〃	6 0 × 1 0 5 / 3 @ 4 5 0
筋 違	〃	1 0 5 × 1 0 5 / 3
火 打 材	〃	9 0 × 9 0
大 引	米松一等	9 0 × 9 0
根太 (洋室)	〃	4 5 × 4 5 @ 3 0 0
根太 (和室)	〃	4 5 × 4 5 @ 3 6 0
窓 台	米梅一等	1 0 5 × 3 5
窓まぐさ	〃	1 0 5 × 3 5
胴 差 し	米松一等	1 0 5 × 1 8 0
軒 柄	〃	1 0 5 × 1 5 0
梁	〃	
胴縁 (外壁)	米梅一等 (平割)	1 5 × 4 0 @ 4 5 0
胴縁 (内壁)	〃	1 5 × 4 0 @ 3 0 0

3-2 階段

側板 ラワン 3 0 0 × 3 4

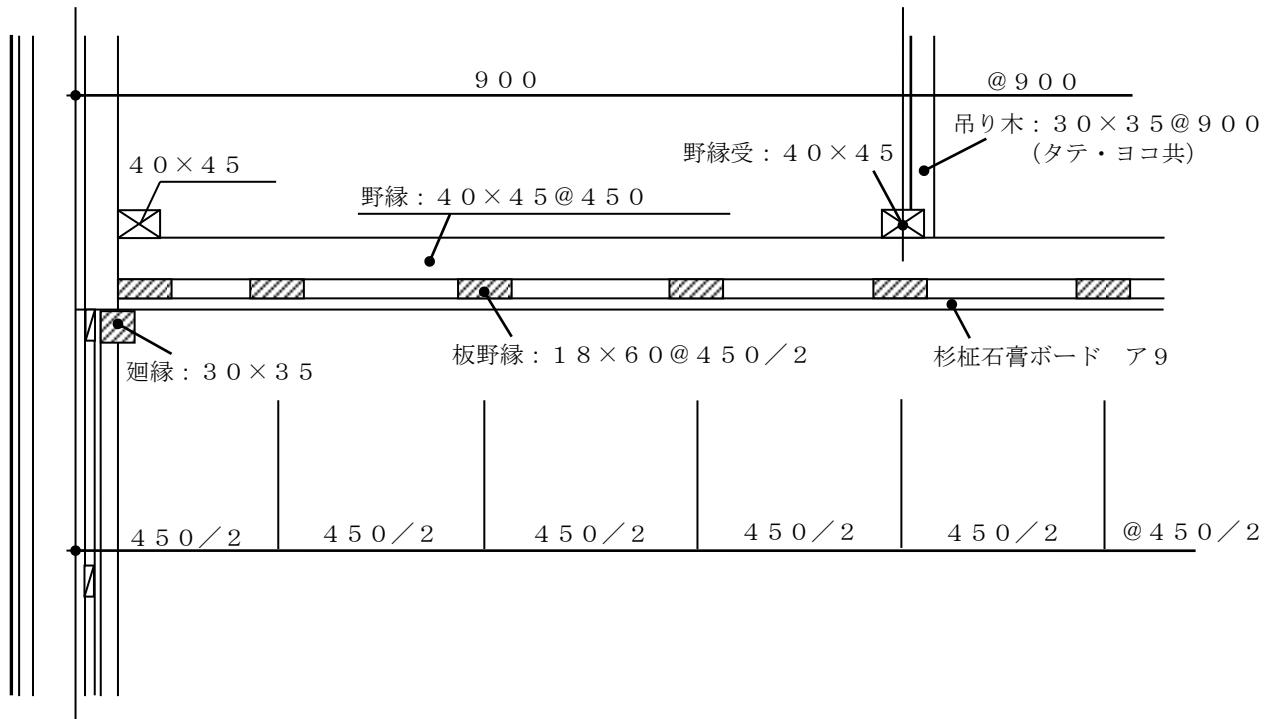
段板 ラワン ア 3 4

ケ込板 ラワン合板 ア 5. 5

3 - 3 天井下地

軽量鉄骨天井下地は原則として使用しない。

吊り木	米梅一等	30×35 @ 900
野縁受	〃	40×45 @ 900
野縁	〃	40×45 @ 450
板野縁	〃	18×60 @ 450/2



3 - 4 造作材

化粧柱 (和室)	米梅上小節	105×105
敷居	〃	105×45
鴨居	〃	105×45
窓台	〃	105×45
窓まぐさ	〃	105×45
付鴨居	〃	20×45
天井廻縁	〃	35×35
畳寄せ	〃	35×45
雑巾ずり	〃	15×15
木製建具四方枠	〃	105×35
額縁	〃	ア25

4. 屋根

4-1 折版

ア0. 6 ; 山高 150 ; 断熱ペフ ア6 (但し軒裏は除く)

4-2 鼻隠しパネル

使用部分は、外壁がスパンドレルの部分とする。

その他はケラバ包み

4-3 化粧フレーム

必要箇所に使用しても良い。

5. 外装

5-1 住宅

①カラースパンドレル ア0. 4 (使用部分については別図参照)

②その他 カラー波型鉄板 ア0. 19

(但し、色はカラースパンドレルに合わせること)

5-2 店舗等

①上記 5-1 に準ずる。

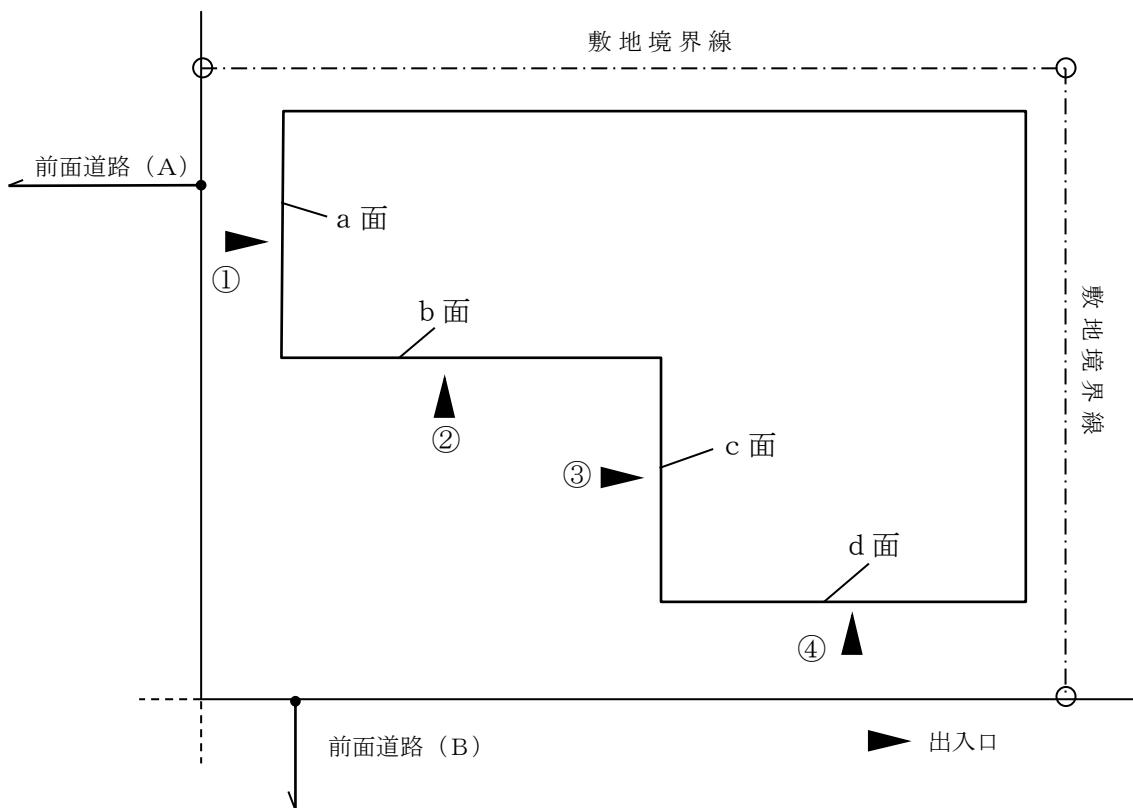
②但し、腰壁（基礎で正面部分のみ）及びアプローチ部分については下記の仕様
によっても良い。（飲食業のみ）

腰 壁 : モルタル ア30 (タイル下地) + 煉瓦調タイル

アプローチ : モルタル ア30 (タイル下地) + 煉瓦調タイル

③外壁スパンドレル張り可能な面（アプローチ等）少面積に限りアクリル系吹き
付けタイル仕上げを使用しても良い。

(別図)



1. 前面道路 (A) のみに面している場合

1-1 出入口を①, ②, ③のいずれかに設けた場合

スパンドレル: a 面, b 面, c 面

その他の : カラー波型鉄板

2. 前面道路 (B) のみに面している場合

2-1 出入口を②, ③, ④のいずれかに設けた場合

スパンドレル: b 面, c 面, d 面

その他の : カラー波型鉄板

3. 前面道路 (A), (B) に面している場合 (角地の場合)

3-1 出入口を①, ③のいずれかに設けた場合

スパンドレル: a 面, b 面, c 面

その他の : カラー波型鉄板

3-2 出入口を②, ④のいずれかに設けた場合

スパンドレル: b 面, c 面, d 面

その他の : カラー波型鉄板

6. 内装

6-1 住宅

①和室

- (床) ラワン合板 ア12, スタイロタタミ ア55
- (壁) ラワン合板 ア4, ビニールクロス (ジュラク調)
- (天井) 化粧石膏ボード ア9 (杉柾)

②洋室

- (床) 化粧フローリング ア12
- (床) ラワン合板 ア12, CFシート ア1.8
- (壁) ラワン合板 ア4, ビニールクロス (柄物)
- (天井) 化粧石膏ボード ア9
- (巾木) ソフト巾木 H=100・H=75

③台所 (流司台・コンロ台付近)

- (壁) ケイカル板 ア6, EP塗装
- その他は洋室に準ずる。

④押入等

- (床) ラワン合板 ア12 (中段・天袋) ラワン合板 ア9
- (壁) ラワン合板 ア4
- (天井) ラワン合板 ア4

⑤納戸

- (床) ラワン合板 ア12
- (壁) ラワン合板 ア4
- (天井) 化粧石膏ボード ア9

⑥洗面・脱衣

- (床) 化粧フローリング ア12
- (床) ラワン合板 ア12, CFシート ア1.8
- (壁) ラワン合板 ア4, ビニールクロス (柄物)
- (天井) 化粧石膏ボード ア9
- (巾木) ソフト巾木 H=100・H=75

⑦便所

(床) ラワン合板 ア12, CFシート ア1.8

(壁) ラワン合板 ア4, ビニールクロス (柄物)

(天井) 化粧石膏ボード ア9

(巾木) ソフト巾木 H=100・H=75

⑧玄関

(床) モルタル塗 ア30 (金ゴテ仕上)

⑨断熱材

a. グラスウール ア50を2枚充填

施工箇所: 屋根下天井裏

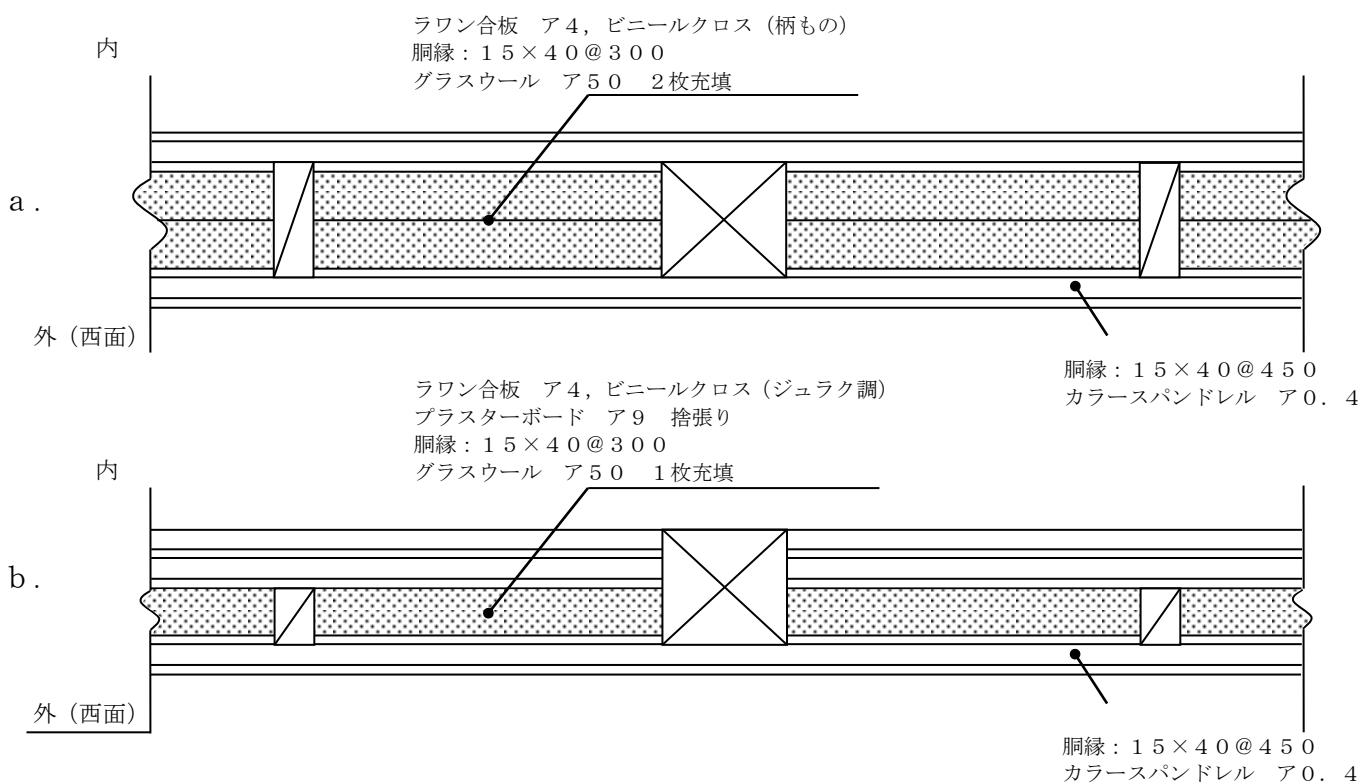
2階洋室西面外壁部分

b. プラスターボード ア9 捨張り

施工箇所: 2階和室西面外壁部分

c. グラスウール ア50を充填

施工箇所: 上記箇所以外



⑩その他

天井下地は木下地とする。

その場合の労務費の扱いは別表大工工数等の設定工数に含まれるものとする。

6-2 店舗等

①店舗・事務所

- (床) 化粧フローリング ア12
 - ラワン合板 ア12, CFシート ア2.3
 - モルタル塗 ア30 (張物下地), CFシート ア2.3
- (壁) ラワン合板 ア4, ビニールクロス (柄物)
 - プリント合板 ア4
- (天井) 化粧石膏ボード ア9
- (巾木) ソフト巾木 H=100・H=75

②倉庫

- (床) モルタル塗 ア30 (金ゴテ仕上)
- (壁) プリント合板 ア4
- (天井) 化粧石膏ボード ア9

③便所

- (床) モルタル塗 ア30 (タイル下地), 25角モザイクタイル
- (壁) ケイカル板 ア6, 100角タイル (圧着張り)
- (天井) 化粧石膏ボード ア9

④厨房

- (床) 防水モルタル塗 ア30
- (壁) 腰: ケイカル板 ア6, 100角タイル (圧着張り)
 - 壁: 不燃材料, ビニールクロス (柄物)
- (天井) 化粧石膏ボード ア9 (平滑な面のもの)

※保健所の指導により飲食業を営む店舗については

- 1) 厨房の床, 腰壁 (H=1500程度) については、耐水性材料で仕上げる (水洗いができる) こと。
- 2) 便所, 厨房は直近に専用の手洗器を設けること。 (水石鹼入れの設置も可)

7. 金属工事

7-1 水切，雨押さえ

① カラー鉄板 ア0.35；糸巾120

施工箇所：カラースパンドレル・カラー波型鉄板下部水切

② カラー鉄板 ア0.35；糸巾300

施工箇所：折版上部雨押さえ（壁取り合い）

庇上部雨押さえ

物干上家上部雨押さえ

7-2 とい

① 軒とい

屋根用：VP角120

上家用：VP ϕ 100半円

② 壁とい

屋根用：VU ϕ 100・VU ϕ 75

上家用：VU ϕ 75・VU ϕ 55

③ じょうご

屋根用：120角用

上家用： ϕ 100用

8. 防水工事

8-1 シーリング

シリコン（10×10）

施工箇所：物干上家・庇と外壁との取り合い部分

外部建具三周

流司台・コンロ台と内壁との取り合い部分

9. 建具工事

9-1 玄関建具

色についてはブロンズを使用しても良い。

- ①片開き
- ②親子開き
- ④引違いアルミサッシ（千本格子）

9-2 外部建具

- ①引違いアルミサッシ

色についてはシルバーを原則とするが、カラースパンドレルを使用している外壁面においてはブロンズを使用しても良い。

- ②網戸

全ての外部建具について設置する。

色については上記に準ずる。

- ③面格子

1階外部建具についてはすべて設置する。

2階については協議のうえ設置してもかまわない。

9-3 内部木製建具

- ①仕上材料

OP塗装、OS塗装、ビニールクロス貼、プリント合板、
新鳥の子、雲花紙、ラワン合板

- ②便所の建具については下部に給気用ガラリを設けること。

9-4 ガラス

- ①網入り型板ガラス ア6.8

使用箇所：面格子のついていない外部建具

- ②型板ガラス ア4.0

使用箇所：面格子のついている外部建具

- ③型板ガラス ア2.0

使用箇所：内部建具

10. 雜工事

10-1 台所用備品

1戸につき、1組を標準とする。

- ①流司台 W=1200 (GNY-S-120)
- ②吊戸棚 W=1200 (GNY-A-120)
- ③水切棚 (2段) W=900, ふきん掛, フック付 (NSR-90-2)
- ④コンロ台 W=600 (GNY-K-60BG)

原則として上記の製品を使用する。

10-2 風呂

①ユニットバス

日立 FSB-1216NY (BLユニット) を標準仕様とする。

(浴槽 HK-511A-1LBL)

浴槽蓋 (SGC-7211B), 鏡 (防湿型 ^W360×^H510)

シャワー共用水栓 (KVK KF-30N), 窓用開口補強 共

②その他

身障者・高齢者等の使用が考えられる場合は、特別措置を講じても良い。

10-3 庇

玄関及び勝手口上部のみ設置しても良い。

10-4 物干台

1戸につき1ヶ所を標準とする。

^W2700×^D1350程度

物干金物 (キヨーワナスタKS-530M-M程度) を設ける。

目隠し、腰壁として塩ビ波板を張っても良い。

10-5 上家

塩ビ波板葺き、勾配2/10程度

①物干台上部

②下屋 (^W2700×^D1500程度)

③自転車置場 (^W1800×^D1500程度) として設置して良い。

10-6 工作物

①造り付け下駄箱

^W900×^H900×^D400程度

ラワン OSC仕上げ

引き違いフラッシュ戸 (プリント合板仕上げ)

②棚

室内にのみ棚板として設ける。

ラワン ア18, D=300, 塗装仕上げはしない。

10-7 階段手摺

フクビ 銘木階段手摺 I型程度

10-8 スリープ等

①クーラースリープ ϕ 100程度

②T E Lスリープ ϕ 20程度

③レジスター ϕ 100程度

便所に1ヶ所設けること

10-9 溝ブタ

玄関の幅のみ設置する。

ワコーリップを標準とする。

10-10 ネットフェンス

①H=2400直忍ネットフェンス

②H=2400直忍目隠しカラー波型鉄板張りネットフェンス

③H=1200ネットフェンス を設置しても良い。

仮設建物の標準仕上げ材等

1. 仮設建物の設計の仕様については、“建築工事標準仕様書”及び“特記仕様書”による
2. 仮設建物を設計する際の標準的な材料等の仕様は次のとおりである

①共通部分の材料等の仕様

部分別	材料	備考
基礎	平家建：コンクリート 二階建：鉄筋コンクリート	
木工	特記仕様書による	
屋根	カラー折版葺	鼻隠し、化粧フレーム、ケラバ 包みを含む
外回り	壁 ・カラースパンドレル張又はサイディング張 ・カラー波型鉄板張	・道路に接している面（玄関面） ・上記以外の個所
	建具 ・玄関戸（金属製） ・アルミサッシュ面格子付（ブロンズ） ・アルミサッシュ面格子付（シルバー） ・網戸	・基準単価 ・スパンドレルを使用している 外壁面 ・玄関以外の部分
雑	・グラスウール断熱材厚50mm ・グラスウール断熱材厚50mm×2	・外壁 ・最上階の天井、2階洋室西面
工作物	棚は大工仕様とする	
設備	電気 ・分電盤（市営住宅程度）、配線器具、標準照明器具 ・クーラー配線、動力設備	
	ガス ・メーター、配管、コック	
	水道 ・止水栓、メーター、台所、洗面所、散水栓	
	衛生 ・洋風便器又は和風便器（TOTO及び同等品）	

*設備については、現況建物の設備を参考にする

②住宅の仕上げ材料等の仕様

	床	腰壁	壁	天井	備考
玄関	モルタル	プリント合板又はクロス	化粧石膏ボード厚9mm		
廊下	化粧フローリング	プリント合板又はクロス	化粧石膏ボード厚9mm		
便所 便所	クッションフロア 洋和	プリント合板又はクロス	化粧石膏ボード厚9mm	フラッシュ戸	
浴室	バスユニット（給湯機能（16号）付風呂釜）	を設置する			
台所	・化粧フローリング ・長尺シート	・プリント合板又はクロス ・流し台、コンロ台廻り珪酸カルシウム板EP塗り	化粧石膏ボード厚9mm	フラッシュ戸 又はガラス戸	
和室	スタイル畳	クロス（じゅらく調）	化粧石膏ボード厚（杉板）9mm	フスマ又はガラス戸	
洋室	・化粧フローリング ・長尺シート	プリント合板又はクロス	化粧石膏ボード厚9mm	フラッシュ戸 又はガラス戸	
納戸	ラワン合板厚12mm	ラワン合板厚4mm	ラワン合板厚4mm	フラッシュ戸	
押入・物入	ラワン合板厚12mm	ラワン合板厚4mm	ラワン合板厚4mm	フスマ	
階段室	—	プリント合板又はクロス	化粧石膏ボード厚9mm		

*クロスはビニールクロスを原則とする

*建具（フラッシュ戸はプリント合板又はクロス仕上げ、ガラス厚は2mmとする）

③店舗、事務所等の仕上げ材料等の仕様

		材 料	遊 興 飲 食 業 、 貴 金 属 店 等	物 品 販 売 店	事 務 所	備 考
外 装	床	タイル モルタル	アプローチ ○	— ○	— ○	煉瓦調タイル
	壁	タイル 吹き付け材		— —	— —	煉瓦調タイル
	建具	デザインドア サッシュ(アンバー) 網戸(アンバー)	○ ○ ○	— — —	— — —	基準単価 〃
内 装	床	タイル	ワンポイント	—	—	
	壁	タイル	厨房見え掛け h900	—	—	基準単価
	天井	化粧石膏ボーダー	○	○	○	基準単価
	便所 の壁	タイル	客用のみ全高さ可	h = 1200	h = 1200	基準単価
設 備	電気	・メーター、配線、コンセント等の器具 ・現在使用している分電盤回路、動力設備程度				
	ガス	・メーター、配管、コック等				
	給水	・止水栓、メーター、配管、水栓等				
	衛生	・手洗い、洋風便器又は和風便器				

*○印は・・可

*上記以外の仕上げ材等については“仮設建物の設計詳細”の仕様による

*標準の仕上げ材料等の仕様（“共通部分、住宅部分、店舗、事務所、従前店舗の仕上げ材料等の仕様”）によらない場合は下地までの仕上げとする

*住宅と併用の場合の住宅部分の仕上げ材料等は“住宅の仕上げ材料等の仕様”による